

地域美産研究会ニュース No.92

発行：平成 24 年（2012）12 月 17 日

第 92 回催事 地域美産研究会

『最近の病院建築のトレンド』

実施期日：平成 25 年 1 月 26 日（土）

「病院は、心身の病に侵された人が、その治療のために訪れる場所です。心にも身体にも何らかの損傷やハンディを負い、必死になってその回復のために訪れる。医師は、病の原因がどこにあるかを調べ、1 分でも 1 秒でも命が生きながらえるよう最善を尽くす。病院が単に病の治療のための、いわば“作業所”に過ぎなかったら、無慈悲で冷たい空間になってしまいます。そうではなく病院と言う空間自体が、医師にとっても患者にとっても機能的であると同時に、病を抱える人にとって安心できて気持ちが落ち着ける場であることが求められます。

2012 年 9 月にシンガポールで開催されたヘルスケアイノベーションに関する国際会議で行った「日本の病院建築の紹介」講演をベースに、医療産業都市構想を考えます。

3. 11 以降日本人の生活観の変化や高齢化する社会での医療の変化を展望します。



神戸国際医療開発センター完成予定図； 先端医療機器研究開発拠点

企画・解説 桑野隆司（くわの・たかし）

建築家。専門は医療福祉施設。大阪府出身。49 年生まれ。名古屋工業大学・同大学院を経て 74 年日本設計に入社。日本設計で医療施設設計を担当。代表作品に昭和大学病院中央棟（医療福祉建築賞）、川崎市立川崎病院（神奈川県優秀建築賞）がある。

現在 株式会社日本設計 執行役員 医療施設設計部長

第92回催事 美産研究会『最近の病院建築のトレンド』

	日	時	平成25年(2013)1月26日(土) 16:30~17:30
	場	所	パブリックアート研究所図書室 〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5丁目2番8号 (左地図参照; 表参道駅A1出口から地上へ)
	企 画 ・ 解 説		桑野隆司 日本設計ディレクター代表取締役、
	参 加 人 数		20名。
	参 加 費		会員 1,000 円 一般 2,000 円
	交 歓 会		研究会後、アート談義を楽しむ会。 費用別途(当日自由参加)
	当日の連絡先		090-7827-8228(藤嶋)

第92回催事：参加申込書

記入日： 年 月 日

① **1月23日(水)迄**にこの申込書をメール、FAX(045-361-0461)又は郵送で。

ふりがな			性別	男・女	年齢	才
氏 名			職業			
住 所	〒					
生年月日	大正/昭和/平成 (西暦) 年 月 日					
会員資格	①・会員 ②一般(非会員)					
Tel			Fax			
Tel(携帯)			e-mail			

② 参加記入欄(該当金額欄に○を付けて下さい)

	1 研究会	2 ご寄付(任意)	3 合 計
会員	1,000		
一般(非会員)	2,000		

参加申込と受付 会員優先で申込先着順とします。以下の申込手続きに従って申し込んでください。

- 参加申込欄の記入事項欄に必要事項を記入し、メールかファックス又は郵送で事務局へ。
- 事務局から参加枠確保の連絡を受けて、指定振込口座
(みずほ銀行 虎ノ門支店 店番号046 普通口座 口座番号 4053204 地域美産研究会 会計 渡辺久剛)に貴方の参加料金を振込料自己負担で振り込み。
- 振込み無き場合は貴方の参加枠を喪失します。
- 振込み済み料金払戻し;主催者側瑕疵の場合を除き払戻不可。
- 申込締切日: 1月23日(水)**
- 探訪会の傷害事故補償: 美産会が費用負担する三井住友海上「普通傷害保険」で補償。
- 郵便宛先: 〒241-0836 横浜市旭区万騎が原71 Tel 090-7827-8228 Fax 045-361-0461
- メールアドレス: toshie@cc.catv-yokohama.ne.jp

振込金額 (上欄○印金額の合計をご記入願います): ￥

Public Art Forum 地域美産研究会とは

日頃人々が生活する場に創り遺された地域の社会美産*たちを、専門家と一緒に現地に訪ね、歴史と文化、地域性や国際性、美や技、景色などの視点から眺めて味わい、地域の魅力を再発見・再評価する。

(※社会美産と地域美産：パブリックアートの視点を拓くための新造語)

地域の魅力再発見・再評価を通して、改めてその土地ならではの歴史や暮らしに愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実安心を得て、自分づくり、家族との絆づくり、仕事づくり、会社づくり、街づくり、国づくりに役立つ何かを見つけながら、仲間達との交歓を楽しむ会員制非営利任意団体です。

会員入会者・催事参加者は、学生・社会人・各分野の専門家など時には外国人を含む幅広い人々が分け隔てなく参加して、各人ならではの参加意図に適った充足感を味わっています。

地域美産研究会は、街づくり景観づくりに関係する地方自治体や都市デザイン・アート分野の人々が集い活動した「パブリックアート・フォーラム」(平成6年～13年、代表幹事 田村 明)を継承した会で、非会員の方々も活動に参加できます。



Public Art Forum 地域美産研究会 設立のきっかけ

パブリックアート・フォーラムは、平成14年(2002)12月迄の過去10年間、美術館から街中に出て、各地の街角や広場に設置された彫刻に代表されるパブリックアートたちに焦点を合わせて、もっぱら欧米におけるそれらの役割・効果を倣って、普及・研究活動を行ってきました。

その後、米国のパブリックアート著名作家 マヤ・リンが、伊勢神宮を日本の優れたパブリックアートとして挙げたこと、環境美学研究家バーバラ・サンドリッセがその著述「パブリックアートとしての鳥居、その不思議な魅力(2000年刊)」で、日本の鳥居をパブリックアートとして大変高く評価したこと、平成13(2001)年、女史の来日を記念して開催した特別フォーラム「バーバラ・サンドリッセと都心の鳥居を探访し、女史の話を聞く会」での体験が、パブリックアートに対する私達の視点を大きく広げて、新しい活動を促しました。

私たちのごく身近に古くから在って、地域の生活と密接に係わりながらその地の生活文化を創り育て、人々の心の拠り所になってきた、その地ならではの美しき良きモノたちを、従来型のパブリックアートを含めて現地に訪ね、肌で味わい評価する。それらの再発見・再評価を通じて、地域の暮らしと歴史に愛情・尊敬・誇りを感じ、心の充実・安寧を得ながら次代を生き抜く力とする。「Public Art Forum 地域美産研究会」(昨年度迄は「地域美産研究・探訪会」)は、このような主旨から平成14年12月1日に設立された活動団体です。



運営： アドバイザー・会員等の意見・提言を受けて「世話人会」が運営を担う。

(1) 世話人会

創作者／相談役：	杉村 莊吉	(パブリックアート研究所代表)
代 表：	藤嶋 俊會	(美術評論家)
副 代 表：	伊豆井 秀一	(埼玉県立近代美術館専門員兼学芸員)
世 話 人：	石村 誠人	(駅・街デザインとパブリックアート研究家)
	渡辺 久剛	(会計：三井不動産ビルマネジメント(株))
	橋本 完	(アート・インキュベータ：アトリエまほろ主宰)
	渡部 伍郎	
	宝利 修	(ITアドバイザー：ぶんか合同会社プランナー)

(2) アドバイザー

加藤 源	(都市計画設計家、日本都市総合研究所代表)
後藤 元一	(環境設計家、元札幌市立高専教授)
建畠 哲	(美術評論家、埼玉県立近代美術館館長)
山岡 義典	(市民社会創造ファンド 運営委員長)